

神樹の会会報

No. 55
平成13年12月18日

発行所：神樹の会
発行人：宮脇テル子

本部事務所 (六甲作業支援センター内) ☎821-1533
〒657-0037 神戸市灘区備後町3-2-22

明芳デイサービス ☎735-8835
〒654-0024 神戸市須磨区大田町6-4

福祉の店“いたやど” ☎733-2477
〒654-0022 神戸市須磨区大黒町2-2-12

たおじ作業所 ☎987-2532
〒651-1312 神戸市北区有野町有野字白原3689

六甲作業支援センター ☎821-1533
〒657-0037 神戸市灘区備後町3-2-22

ゆめの作業所 ☎578-3539
〒652-0041 神戸市兵庫区湊川町8-4-10

垂水作業支援センター ☎782-9675
〒655-0006 神戸市垂水区本多町7-2-3

第30回 チャリティバザー 降る降る星の願いをこめて!



▲バザー会場の様子

第30回記念バザーを感謝!

神樹の会会長 宮脇テル子

記念すべき第30回神樹の会バザーがハッピーランドスペースシアターにおいて去る十月二十五、二十六日に開催されました。毎年収益金は重度障害者施設建設のために積み立てられたり、また会の運営費などに使われています。

品物を提供してくださる方々のご愛、ご寄付をしていただく方々の尊いお心、値付けの場所や倉庫を提供していただく養護学校のご厚意、搬入搬出時のボランティアの方々の汗、そして時間と労力を提供してくださる会員の方々の協力、この大きなハイモニーがうまく調和し今年も盛会のうちに終了することができました。

地域で生活するためには

重度障害者が地域の中で生活をするためには、地域の人々の理解はもちろんであるが障害者を取り巻く環境の整備が必要になってくる。障害のある方が神戸市のどこに住んでいてもいつでも必要ときに利用できるサービスメニューが揃っていないと支障が大きい。十五年度四月より支援費支給制度が導入される。利用者が選んで契約をしてサービスを利用することになるが、事業者がサービスを提供する中、本当に

選べるのかどうか、また選べるだけの数があるのかそれも未知数である。一つでも多くのショートステイ(レスパイト)、入浴サービス、ホームヘルパー派遣、福祉ホーム等の整備が在宅障害者にとっては待たれるところである。

本会では三十年積み立てられてきた多くではないが資金がある。この変革の時にこそ会員一致協力して、この資金から重度障害者のそれぞれ独自の自己実現のためにステップを踏み出すことを切に念願したい。

★理事長感謝状受賞 おめでとうございます

9月4日に神戸文化ホールで行われました平成13年度神戸市社会福祉大会におきまして、次の方々が神樹の会推薦により社会福祉協議会理事長感謝状を受けられました。

(奉仕活動の部) 辻野 富貴 堀之内 広美
(金品の部) 中西 久子

★新年会・30周年記念祝賀会

日時：平成14年1月20日(日)
午後1時～4時頃
場所：ポートピアホテル エメラルドの間
会費：7,000円
今年は新年会と記念祝賀会を兼ねて行います。

★第5回ヤングフェスティバル

日時：平成14年2月24日(日)
午前11時～午後3時
場所：しあわせの村 研修館大ホール
参加費：800円
音楽療法グループ(加-バウワド)による音楽会・ゲーム等
今年は皆で楽しく昼食をとりながらおしゃべりに花を咲かせませんか。

★第8回 ゆうすい希望展

日時：平成14年2月5日(火)～2月10日(日)
午前11時～午後6時まで
(最終日午後5時まで)
場所：ギャラリーミウラ
神戸市中央区中山手通一-11-19
☎三九一-二六六五

ゆめの作業所グッズ紹介

ゆめの作業所では、さをり織り製品を中心に販売しています。ポーチ、ポシエット、リュックサック、マフラー、かばん、小物類です。

地域のバザーや古美術団体の福祉バザーの骨董市に参加したり市内高等学校祭で展示即売や養護学校祭等で販売しています。おかげさまで十一月の売り上げが約九万円になりました。特徴としては、色が美しい、センスが良い、仕上げがきれいで、値段が高くない等です。

【お問い合わせは...】

TEL・FAX共
〇七八-五七八-三三三九

★感謝

平成十三年七月から十一月までに次の方々より尊いご寄付をいただきました。
高内恒夫様
鳥越清敏様
木村貴代子様

第30回バザー収支報告

第1日目売上	2,550,948
第2日目売上	1,417,270
収入の部	
会場募金	7,567
寄付金	1,047,235
委託より	210,290
計	5,233,310
支出の部	
会場使用費	302,610
会場設営費	480,000
印刷費	64,090
一般物品費	19,635
材料費	47,205
通信費	106,750
事務費	24,855
交通費	102,962
雑費	195,724
計	1,343,831
差引収益	3,889,479円

神戸市内で初めての重症心身障害児者施設「にこにこハウス」が10月しあわせの村内にオープン。まだ入所者20名、通園者3名ですが、来年の3月までには満所になる予定です。ショートステイ、外来診療、訓練なども実施していく予定とのことです。開所したばかりで、まだ軌道に乗っているとは言えませんが、どんどん利用して要望を出して、私たちも一緒により良いものにしていけたらと思います。



「にこにこハウス」の全景

11月8日、友生養護学校進路部から
見学に行った時の保護者の感想です。

- *北区在住の者として建物ができただけはひとつの希望です。あとはうまく活用されればうれしい。男性スタッフが見当たらなかったのが心配。
- *重症心身障害者のイメージとは違いますが、最も重度の人が見出してしまうのではと不安になった。
- *施設長の理念には共感でき熱意を感じた。これから期待したい。
- *まだ子供は低学年だが外来、ショートステイなど整備されれば今すぐにも利用したい。
- *何年かして入所、通園など望んでも定員がいっぱいで入れないのではないかと思った。
- *設備は整っていたが、スタッフの確保の難しさや、必要としながらも埋もれている重度の人への対応など、課題はたくさんある。



平成13年度より新しく副会長に加わられたお二人にいろいろ聞かせていただきました。

- Q1 「副会長を引き受けて思ったこと」
- Q2 「意気込みは？」
- Q3 「会の発展にどのように関わっていかれますか」
- Q4 「忙しい中、自分の時間をどの様に作っておられますか」

日高恵美子 副会長



A1 神樹の会が、長年の念願に向かって大きく歩み出そうとしている大切なこの時機に、大役を引き受けてしまったことに大きな不安が残っています。

A2 大それた意気込みはありません。出来ることをやるのみです。

A3 近年、とみに社会情勢が厳しくなり、とりわけ障害者の福祉も大きく変わろうとしています。このような環境の中でも神樹の会が発展していくということは、障害者の福祉の増進につながるものと確信していますので、親として皆さんと力を合わせてがんばりたいと思っています。

A4 地の利のおかげ（10分映画館）で時々映画を観に行くことと、週末に帰ってくる娘の体力維持に始めたプールを一緒に楽しんでいきます。

卒業してからのこと

そして今、気になること

吉岡 伸晃

養護学校を卒業して八年になります。まだDSと魚崎DSに週に二日ずつ、絵画教室に月二回、神樹の会の訓練教室に月二回、ショートステイに月三回位行っています。中途障害のおじさん、おばさんがいっぱいいるのだ。養護学校の卒業生がほとんどの魚崎DS、どちらのDSもいろいろちがって楽しいです。

進元文枝 副会長



A1 会員の皆様と共に微力ですが自分の出来ることをお手伝いさせていただけようと思ってきました。

A2 今までと同じです。

A3 重点目標に掲げられています療護施設建設とそれに付帯するサービスが実現されるよう意見を述べていきたいと思っています。

A4 毎日、時間に追われている状態ですが、数週に二〜三時間でもポロッと過ごせる時間をできるだけ作りたいと思っています。

OB懇親会

秋晴れの十一月九日、灘の「酒心館」において、OB懇親会が行われました。「生と死を考える会」の会長で英知大学教授の高木慶子先生に「人生を心豊かに生きるため」と題してお話をいただきました。

「自分自身の中に、たとえどんな困難にあっても子供を育てるための愛と力を十分もっていることを信じて下さい」との母親への力強い応援のメッセージが込められた、すばらしい講演でした。その後、おいしいお料理をいただき、なごやかな歓談のうちに散会となりました。心あたたまる有意義なひとときでした。

あしがき

新宮様ご誕生の明るいニュースで今年も暮れようとしています。皆様お変わりありませんか。会報五十五号をお届けします。神樹の会は新体制のなか、確実に歩んでまいりました。来年はさらなる目標に向かって躍進しましょう。皆様にとりまして、希望の年となりますようお祈り申し上げます。

- 田村 吉本 山田
- 岩本 大住 矢野
- 岡本 小野 宮脇

計報

平成十三年八月より十二月までに次の会員の方が亡くなりました。心よりお悔やみ申し上げます。

陳 桂宝様（昭和六十三年度垂水卒 陳麗華さんの父親）

絵画教室も六年間行っています。ショートステイは遠いので母はしんどいと言います。もう少し近くにあればよいと思います。訓練教室は、先生やみんなに会えるし、いろんな話ができて楽しいし、元気が出来ます。でも来年からは土曜日が全休になるので今まで通り先生は来てくれるだろうか、学校は開けてくれるだろうか、考えるとお母さんいろいろなお願いしているから」と言ってくれるけど…。みんなも学校で訓練を受けたいと言っています。先生、校長先生、よろしく願います。

（友生養護学校平成五年卒業）